

第3期総合戦略の策定について（概要）

資料 3

・現行の第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの計画となっており、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした「第3期総合戦略」の策定に向け準備を進めております。

・なお、国は令和5年度を初年度とする新たな「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し戦略の中で、「デジタルの力を活用し地方の社会課題解決や魅力向上の取組・深化を図ること」としており、地方においても国の総合戦略を勘案し策定することとされているため、新たな要素として第3期総合戦略に組み込みます。

策定のポイント

①人口ビジョンの見直し

・第2期戦略では、人口ビジョンの見直しを実施しなかった（≡平成28年（第1期）の数値を継続していた。）が、第3期戦略では国勢調査の結果や各種施策の取り組みを見込んだ人口推計を行い、人口目標値の再設定を行う。

②U I I ターンの強力推進

・ICT社会の推進により、テレワークが普及し場所を選ばない働き方が現実的に可能となっている。
・第3期戦略では、UIIターンによる「呼び戻し」に注力し、生産年齢人口の拡大や、出生率の増加を期待していくため、UIIターンの具体的な施策を展開する。

②町内青年団体等との意見交換

・各種団体における青年部や町内で活躍する青年団体との意見交換、幼稚園父母会を通じたアンケート調査の実施など、若年層や子育て世代にリーチする要素を収集する。
⇒若年層ならではのアイデアを募る機会を設ける。

④デジタルの力を活用した社会課題解決・魅力向上

・誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指し、これまでの様々な地域課題解決・魅力向上に向けた取り組みをデジタルの力を活用して継承・発展させていく。
・地域が目指す理想像に向かい、デジタル技術を活用しつつ、地方活性化の取り組みを推進する。

⑤女性の定着を図る施策立案

・人口戦略会議が各自治体の2050年の20～39歳の女性減少率を発表したが、美幌町は管内で一番女性減少率が高いことが分かった。
・女性減少率を抑える具体的な施策を展開し、女性の定着を図る実践的な戦略とする。

策定スケジュール

5月

・将来人口推計委託契約
・庁内会議実施
（政策会議に合わせて）
・町民会議
（オリエンテーション）

7月

・庁内会議
・町民会議
（方向性議論）
・意見交換会実施

8月

・意見交換会実施

9月

・庁内会議
・町民会議
（意見交換踏まえ方向性決定、施策検討）
人口ビジョン見直し

10月

・庁内会議
・町民会議
（施策等確定）
・人口ビジョン見直し
・議会説明

11月

・町民会議
（案確認）

12月

・案完成
・庁内会議
（案確認）
・議会説明

1月

・パブコメ

3月

・条例改正
・完成
・公表

名称変更について

・国の総合戦略の名称が変わったことから、地域の実情に応じて以下のような名称を設定することが適切である旨示されております。

- （例）
- ・美幌町デジタル田園都市国家構想総合戦略
 - ・美幌町デジタル田園都市構想総合戦略
 - ・美幌町デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略